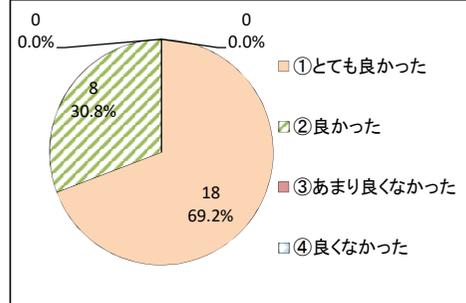


令和元年度工事現場見学会アンケート集計結果（生徒）

北部建設事務所

開催日	令和元年10月18日	工事名	一般国道375号 道路改良工事（交付金・引字根H30-2工区）	参加者	広島県立庄原実業高等学校（環境工学科）	参加人数	26人	回答数	26人
-----	------------	-----	---------------------------------	-----	---------------------	------	-----	-----	-----

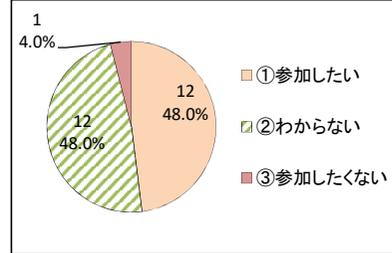
Q1 見学会に参加していかがでしたか？



【主な理由】

とても良かった	ICTについて良く知れた 将来の勉強になったから 普段見れないものを見れたから
良かった	沢山の機械が見れたから
あまり良くなかった	
良くなかった	

Q6 また見学会に参加したいですか？



【参加したい見学会】

巨大な機械に乗ってみたい
色々な技術をもっと見れる見学会

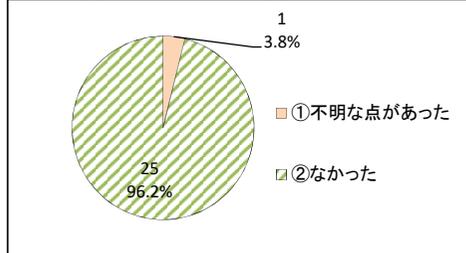
Q2 見学会で特に印象に残った内容は何ですか？

数日かかっていた測量が数分で出来るようになった事。	
巨大なショベルカーに乗ったときすごかった	
経験があまり無い新人の方でも、このような技術があれば、現場でもちゃんとやっていけるなと思いました。	

Q7 感想・自由意見

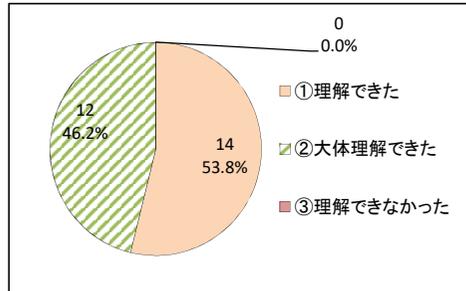
とても勉強になった
ここまですごいものとは思ってなかったのでITにはとても印象深いです。道路を作るのにも手間がすごくて、作業をする人もすごいなと思いました。
雨が降ったけど、楽しかった

Q3 見学会において不明な点がありましたか？

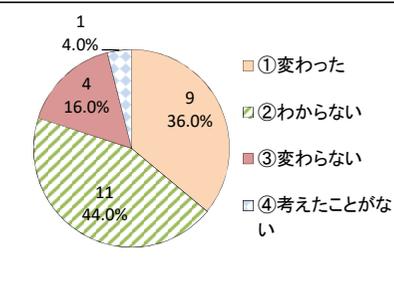


【不明な点の主な理由】

Q4 施設を作る目的や必要性は理解できましたか？



Q5 工事現場を見学して公共工事に対する印象は変わりましたか？ 【変化した主な内容】



イメージは大変そうだったけど少し違った
最先端はすごいと思った。事故が減りそう
人手が少なくても楽に出来るようになった

【課題・成果】

- 情報通信などの新しい技術の理解が深められた。
- 建設機械などに直接触れてもらえることができ、公共事業への理解が深まった。
- 工事現場で直接建設機械などに触れ合える機会は重要であることから、今後も引き続き研修を実施していく必要がある。
- もっと広く公共事業への関心や理解を深めることが必要。